

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	－	－	－
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、年末に外出を控える人が家で時間を過ごすために本を買っている。
	○	百貨店（営業管理担当）	来客数の動き	・3か月前と比べると来客数は増加傾向にあるが、前倒し消費の可能性が考えられるため、年末年始の動向と併せて考える必要がある。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・外食に流れていた需要が、依然としてスーパーに集まっており、業界としては景気は良くなってきている。
	○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・12月にしては気温が高かったため冬物衣料の売上減少を懸念していたが、当店に関しては防寒衣料が前年比で好調である。新型コロナウイルス禍で外に出ていくことが減り、その分、可処分所得に余裕が出てきているのではないかと感じている。
	○	家電量販店（副店長）	単価の動き	・来客数は前年並みに戻ってきている。10月以降、客単価が前年よりも良い。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今年は新型コロナウイルスの影響で、年末も家飲みが多くなっているので、販売量が大幅に上昇している。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・12月は新型コロナウイルス禍で料飲店での忘年会は自粛となり、繁華街は年末らしくない人出の少なさで、納品も少なかった。
	□	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・来客数は前年割れで推移しているが、客当たりの買上数量が伸びたので、売上増加につながった。年末のおせち料理の予約は好調に推移し、前年を大幅に超えた。県外からの帰省は減ったが、県外への移動もないことが売上増加の要因と推定している。
	□	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・G o T o キャンペーンの一時的中止に伴い、客が家で料理を作る需要が高まり、販売量も増えている。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・長い自粛生活に慣れてきて、以前よりは来客数が増えているが感染者数が増加すると途端に来客数が落ち込むので、売上は前年割れしている。先が見通せないため生活防衛的な節約志向になっていると感じる。
	□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・景気は変わらず悪く、新型コロナウイルス禍において劇的な変化は望めない。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・3か月前と同様にまだまだ厳しい状況が続いている。新型コロナウイルス感染者の拡大に伴い、来客数が減少している。前年比75%程度の実績となる見込みである。
	□	家電量販店（店員）	単価の動き	・販売数は伸びているが、低単価が主流になっているので、売上は伸びていない。
	□	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・販売台数は前年を超えているが、消費税増税前の一昨年並みの数字に戻っただけである。
	□	通信会社（営業部長）	来客数の動き	・販売に大きな落ち込みはないものの、来客数が例年と比べて8割程度に減少している。
	□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・景気の良い業種と悪い業種がはっきり分かれており、景況判断は難しい。
	▲	商店街（事務局長）	販売量の動き	・都会での新型コロナウイルスの感染拡大と医療のひっ迫が連日報道され、地方にも同様の状況が広がつつあるが、若い人を中心に多くの方は余り強い危機感を抱いておらず、人通りは多く、にぎわいもある。ただし、所得の目減りに対する不安や社交の減少から、消費に対する慎重な姿勢はしばらく続くと思う。
	▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・夜の繁華街はG o T o E a t キャンペーンで少しずつにぎわってきていたが、感染者数が増え出してから、また、人通りがなくなった。来客数は少なめで、自宅用に購入して持ち帰る人が増えた。夜の店用の贈答品は大幅に減っている。
	▲	コンビニ（商品担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの収束を感じ、G o T o キャンペーンなど国の施策を信じていた3か月前と比べ、明らかに景気は悪くなっている。

	▲	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、明らかに来客数が減っている。景気が良くなると期待していたが、年明けもまだ厳しいかもしれない。
	▲	乗用車販売業 (営業担当)	販売量の動き	・メーカーのキャンペーンが終了したため、販売量が落ちている。
	▲	乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・一時期は来客数も増えたが、感染者の増加に伴って減ってきた。
	▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車の受注は、消費税増税後の対前年をも下回る状況で推移している。
	▲	競輪競馬(マ ネージャー)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響による一般市民の外出自粛を受け、消費や購買力が低下気味である。サービス業等の売上が低下してきており、景気はやや悪化してきている。
	▲	美容室(経営 者)	来客数の動き	・例年12月は忙しい時期であるが、全く客が来ない。
	▲	美容室(経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第3波の影響で来店を控える客がまた増えてきた。
	×	商店街(代表 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの第3波の影響が大きい。Go To キャンペーンで、かなり10月は良くなっていたのが吹っ飛んで、一番の稼ぎ時のクリスマス商戦も人出が全然なかった。飲食も時短要請で、かなり厳しい状況が続いている。
	×	百貨店(企画担 当)	お客様の様子	・Go To Travel キャンペーン等の施策の見直し後、女性の来客数がかなり減少している。
	×	スーパー(人 事)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、ずっと来客数が前年より少ない上、年末の帰省者が減ったため売上が減少した。
	×	コンビニ(店 長)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、売上や来客数の減少が顕著に表れている。12月一番のイベントであるクリスマスでさえ、来客数減少の影響をかなり受け、大きく売上が減少した。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの収束がみえず、時短営業等の自粛を強いられ、売上が減少している。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・心配していた新型コロナウイルスの第3波到来により、忘年会、新年会の予約が全てキャンセルとなった。今月は年間最大の繁忙期で最も利益を上げられる月だったので、その反動は大きく、非常に厳しい状況である。
	×	観光型旅館(経 営者)	販売量の動き	・Go To Travel キャンペーンの一時停止により、売上の見込みは全く読めなくなった。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客が3分の1に減っている。当県は12月に入って、感染者数がかなり増加している。営業時間短縮、外出自粛が県や市から公共の電波で放送され、客の動きはほとんどない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・Go To Travel キャンペーンの効果もあったのか、秋は遍路の仕事が結構あり忙しかった。12月は遍路の仕事がなくなり、新型コロナウイルスの再拡大により忘年会がなく、夜の客がほぼいないため、売上は激減した。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	木材木製品製造 業(営業部長)	受注量や販売量 の動き	・受注量が少しではあるが上向き傾向にある。新型コロナウイルスの第3波の影響は見通せないが、人の動きなどが制限されると受注量の減少につながるのではないかと心配している。
	○	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・太陽光設備、バイオマス設備の売上が好調で、今年は非常に利益が出た。当社においては、やや景気は良いと判断している。
	○	電気機械器具製 造業(経理)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスのワクチンを保管する保冷庫の需要が大きく伸びている。一過性の特需に近いものであるが、一部の事業体で受注量や販売量が改善している。
	○	輸送業(経理)	受注量や販売量 の動き	・鉄道、自動車、海運の物量については3か月前と比較して微増となっているが、全体としては低調な動きが続いている。
	○	通信業(企画・ 売上管理)	受注量や販売量 の動き	・11月以降、徐々に広告主からのCM投下が増えており、前年の売上を超える月もある。

	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業が上半期から順調に発注されたことで手持ちの仕事量に大きな切れ目がなかったことから、年間を通じて売上も安定的かつ順調である。地域全体では新型コロナウイルス禍で景況感は良くないが、我々の業界においては、全体的にやや良い状態が続いている。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業が1件落札できたが、やはり民間が鈍い。
	□	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・Go Toキャンペーンの浸透等により取扱物量も増加傾向で推移し、景気の復調を実感していた。しかし、11月からの新型コロナウイルス感染症の第3波の影響を受け、再び取扱物量が減少傾向に転じたことから景気の低迷感を強く感じる。
	□	税理士事務所	取引先の様子	・取引先の状況から判断して変化がみられなかった。
	▲	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月までは、客の地方店やネット販売が順調で、当社も前年並みの売上を確保できていたが、第3波が来てから急激に受注が減った。人出が減り、ネット販売もこれまでのような動きがなくなった。新型コロナウイルス禍が長期化し、消費マインドが一段と冷えてきた。
	▲	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・11月までは持ち直し傾向であったが、新型コロナウイルスの第3波の影響で停滞若しくは悪化している。
	×	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物の卸売価格は、近年値を10とした場合、業務用のウェイトが高い品目は3～5割、一般消費の多い品目で5～8割程度と安値が続いている。例年、12月は25日前後をピークに価格が上伸してきたが、今年は暖秋により大型野菜が豊作であり、新型コロナウイルス禍で業務筋がさっぱりだったことから、価格が上がる要素がない販売環境である。近年まれにみる厳しい単価で推移している。
	×	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・前月同様、回復の兆しはみられない。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、海外工場の時短勤務や海外での商談が長引く等の影響が見受けられる。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・運送業界は直接的に新型コロナウイルス禍の影響を受けやすく、不安を感じる。最大の不安要素は新型コロナウイルスにかかった場合の社会的なマイナス影響と風評被害である。
	×	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の試算表や業況ヒアリングの結果に新型コロナウイルスの第3波の影響がみられる。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	*	*	*
	▲	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣登録が減っており、他の雇用形態に流れている。
	▲	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、飲食関係は年末の忘年会、会合などがほとんど中止となり、前年度と比較して大幅な減少となっている。その影響で食品卸会社、タクシー等の交通機関も減少となり、本来必要とされる求人ニーズがなくなっている。よって金の流通も滞り不景気感があふれている。
	▲	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・周辺の中小企業の求人数は、全体で見るとやや減少くらいだが、観光や飲食を中心としたサービス業の求人がほとんどなくなった。以前から人手不足だった介護業界の求人が増えている、製造業関係は横ばいである。全体の景気としてはやや悪くなっている。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・一度戻り始めた経済活動が新型コロナウイルスの再拡大により一気に悪化した。商店街、特に繁華街においては、夜は閑散としており、開店していることが珍しい状況である。
	▲	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求職者が増えると思われているが、ハローワークでの相談件数が増えていない。人との接触を避け、仕事探しもままならない状態となっているのではないか。

▲	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が様々な産業に出ており、事業所閉鎖、事業縮小等による人員整理を実施する事業所の発生が、4月以降、継続している。12月になって、当県の状況は、11月と比べるとやや安定しているが、全国的には悪化が続いており、Go Toキャンペーンの一時停止の状況等から総合的に判断して、3か月前からやや悪くなっている。
▲	学校〔大学〕 （就職担当）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年卒業予定の県内大学生の就職内定率は4年ぶりに70%を下回った。2021年3月及び2022年3月卒業者の採用動向が懸念される。
×	人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの再拡大の影響で、企業の生産活動が不安定であり、派遣の需要が伸びず低迷している。